

# 情報収集衛星に係る経費の平成29年度補正予算案及び 平成30年度予算案

平成29年12月  
内閣官房

## 1. 平成29年度補正予算案の概要

安全保障及び危機管理に必要な情報収集体制を強化するため緊急に対応すべきものとして、以下の施策を行う。

- (1) 情報収集衛星光学7号機、データ中継衛星についてはサブシステム試験の早期実施、光学8号機、レーダ7号機及びレーダ8号機については開発に必要な部品・材料等の早期調達を行い、製作・試験を可能な限り早期に実施する。
- (2) データ中継衛星地上システムの開発における受信用アンテナの作業工程等を見直し、試験を可能な限り早期に実施する。
- (3) データ中継衛星の打上げ用ロケットの製造・検査工程の前倒しを実施し、部品の検査工程の時間を十分に確保することで、検査体制を強化し、確実なロケットの打上げを行う。

## 2. 平成30年度予算案の概要

前年度に引き続き、ユーザー・ニーズに対応しつつ、合計10機（基幹衛星4機、時間軸多様化衛星4機、データ中継衛星2機）の整備を目標とし、平成30年度においては、以下のような方針の下、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図る。

- (1) 光学7号機、光学8号機の開発を継続する。
- (2) レーダ7号機、レーダ8号機の開発を継続する。
- (3) 平成31年度の運用開始に向け、第七期地上システムの構築を継続する。
- (4) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、重要技術の先行研究開発を拡充・強化する。
- (5) 時間軸多様化衛星（光学）の設計に着手する。

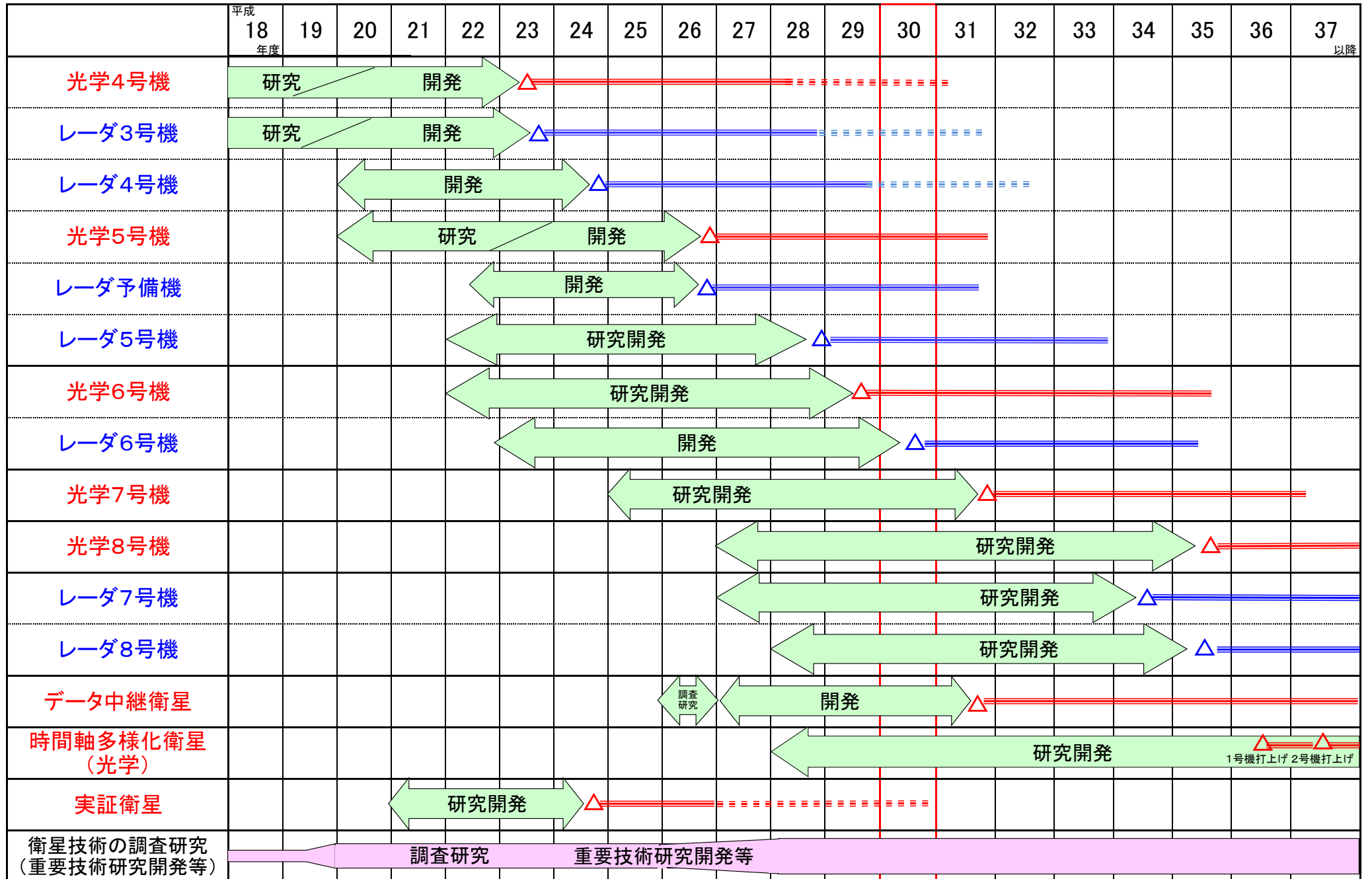
### 3. 平成29年度補正予算案及び平成30年度予算案の内訳

(単位：億円)

経費区分	平成29年度 予算額 (A)	平成29年度 補正予算案	平成30年度 予算案 (B)	対前年度 比較増減 (B-A)
(1) 情報収集衛星の運用等	191	0	250	59
(2) 光学6号機、レーダ6号機の開発	102	0	66	▲36
(3) 光学7号機の開発	74	33	49	▲25
(4) 光学8号機の開発	17	44	26	8
(5) レーダ7、8号機の開発	99	22	95	▲3
(6) データ中継衛星の開発	80	37	79	0
(7) 時間軸多様化衛星（光学）（光学 多様化1、2号機）の開発	3	0	3	0
(8) 実証衛星の運用	8	0	8	0
(9) 衛星技術の調査研究等	45	0	44	▲2
合計	620	135	620	1

(注) 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

## 研究・開発及び打上げスケジュール



△：打上げ・運用開始

※平成30年度予算案時点での見通しであり、今後、変更が生じ得る。